

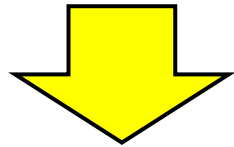
第3回 古賀市公共交通活性化委員会

平成26年10月3日(金) 14:00~16:00

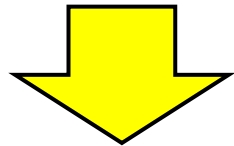
古賀市役所 中会議室

公共交通をめぐる現状は・・・

車社会化、マイカーの普及による利用者の減少



交通事業者の経営難による
バス路線の廃止やダイヤの削減



サービス低下による利用者の減少



交通事業者から

撤退の申し出を受けた自治体は・・・

公共交通を維持するための判断を行う

ケース1

事業者との協議により補助による運行継続

⇒ **古賀市** など

補助により運行継続をする一方、今後の古賀市における公共交通のあり方について、「古賀市公共交通のあり方検討プロジェクトチーム」において、多角的な比較検討を行った。

「古賀市公共交通のあり方検討プロジェクトチーム」による 検討結果

結論：西鉄バスへの補助による運行が望ましい

理由：

- ① 安全性について
西鉄バスは長年の運行実績によるノウハウを有している。
- ② 経費の優位性
初期投資、年間経費ともに西鉄バスへの補助が最も安価。
- ③ サービスの利便性
ICカードや各種定期券の利用が可能

現状：西鉄バスに補助を行うも補助額の増加傾向が続いている

交通事業者から

撤退の申し出を受けた自治体は・・・

ケース2

事業者との協議が整わず事業者が撤退

⇒ **新宮町・福津市** など

現状 : コミュニティバスを運行することとなるが、赤字額の増加傾向が続いている
(コミュニティバスを廃止する自治体もある。)

持続可能な公共交通の実現が重要



これまでの議論とアンケート調査結果から見える 古賀市の路線バスの現状と課題

利用者などについて

現状 1 買い物、趣味・娯楽、通院を主な目的として
利用している高齢者が多い。

※ 利用頻度は、買い物は「週に数回」、通院は「月に1回程度」

一方で・・・

本来であれば、ある程度の利用が想定された
通勤・通学による利用が少ない

課題

高齢者が利用しやすい公共交通
通勤・通学による利用者の獲得

利用者などについて

現状 2 校区における路線バスの利用状況、意識の違い

小野・青柳・舞の里校区 ⇒ 定期的に利用している人が多い

古賀東校区 ⇒ 他の校区に比べ利用していない人が多い

古賀西・花見校区 ⇒ バスを使う必要がない人が多い

千鳥校区 ⇒ バスを「利用するという考えがない」人が多い

課題

地域ごとのルート設定、ダイヤ、周知・PR
などの対策が必要

便数(ダイヤ)について

- 現状1 小野、青柳校区は便数が少ないので利用しない人が多い。
- 現状2 朝の通勤・通学のためJRとの接続を考慮したダイヤになってない。

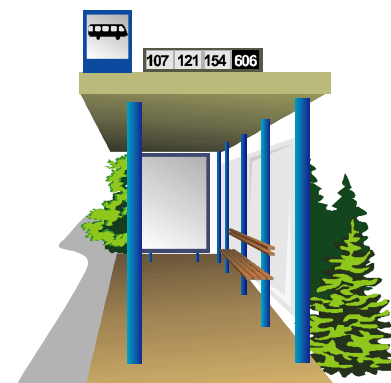
ルートについて

- 現状1 古賀東校区はバス停が遠く、ルートを変更して欲しい人が多い。

古賀東校区の高齢化率 28.1% (市内で2番目の高さ)

車両、施設等について

- 現状 1 コミュニティバスを運行することに対する要望がある
- 現状 2 現在のバスより小型のバスで運行することに対する要望がある
- 現状 3 バス停へのシェルター、ベンチの設置に対する要望がある



新宮町・福津市の状況について

古賀市・新宮町・福津市の路線バス等について（平成25年度実績値）

	年間走行距離 (km)	利用者数 (人)	補助金額 (円)	1便あたり 利用者(人)	可住地面積 (km ²)	可住地面積1km ² あたり走行距離 (km)
古賀市	316,579	252,026	35,603,000	7.8	28.3	11,155
新宮町	322,482	190,474	51,085,000	9.2	14.3	22,551
福津市	312,580	78,566	37,179,500	7.4	38.9	8,025

※前回会議資料の抜粋

新宮町は古賀市の2倍程度の運行しているが、その分補助金額も大きなものとなっている。

参考：近隣市町のコミュニティバス委託先

新宮町 ⇒ 協和タクシー

福津市 ⇒ 福栄タクシー、平和タクシー

久山町 ⇒ 西鉄バス宗像

岡垣町 ⇒ 西鉄バス宗像

宗像市 ⇒ 西鉄バス宗像

車両の小型化について

小型車両比較

車両メーカー	商品名	型式	乗車定員	燃費(km/l)	車両価格
日野	ポンチョ(2ドア) (ノンステップ)	BDG-HX6JLAE	36(11+24+1)	6.4(6.0)	1,550万円
いすゞ	中型 (ワンステップ)	平成19年式	56(25+30+1)	4.4	1,550万円

※前回会議資料の抜粋

※ ポンチョは方向幕、運賃箱等の設置に別途費用がかかります。

※ いすゞの中型バスは、方向幕、運賃箱等を含めた価格。

ポンチョの燃費がカタログにおける燃費であるのに対し、中型バスは夏季の実燃費であることを考慮すると、燃費には大差がない。



車両の買い替えによる経済的な効果は期待できない

検討すべき課題

短期的課題

利用促進

- 対象を絞った細かなニーズ把握の継続
- 通勤、通学者を中心としたバス利用の促進
- 広報やチラシなどによるバス利用の促進啓発

運行改善

- 恒常的に遅れているダイヤやその運行区間の改善
- 小竹系統とクロスパル送迎バスのダイヤの重複
- JR古賀駅のバス停が2箇所（西口と東口）にあること

検討すべき課題

短期的課題

27年度の対応

- 「グリーンパーク古賀～舞の里」の路線について、「グリーンパーク古賀～古賀駅東口」と「古賀駅前～舞の里」に分割する
- バス停名称の変更
 - グリーンパーク古賀 ⇒ クロスパル古賀
 - コスモス館前 ⇒ グリーンパーク古賀・コスモス館前
 - 福岡東医療センター正門前 ⇒ 福岡東医療センター
 - 福岡東医療センター南門 ⇒ シルバー人材センター前

平成26年4月1日現在

古賀市内路線バス 路線図

西鉄バス（薦野線）



検討すべき課題

中長期的課題

ダイヤ

- 小野、青柳、古賀東校区を中心としたダイヤの見直し

路線(ルート)

- 国道3号、495号を運行するバスとこもの線の接続性向上
- 小野、青柳、古賀東校区を中心とした路線の見直し
- 各バス停からサンリブ、ルミエール、サニー、東医療センターへの接続

検討すべき課題

中長期的課題

運行形態

- コミュニティバスの導入（バスの小型化、均一運賃）
- バス車両の小型化
- 運賃の全体的な値下げ

その他

- バス停へのシェルター、ベンチの設置